



大館市の未来を創る会 ふもと幸子通信

第9号 2024年8月発行

ふもとの主要公約を 発表します!

17回の地区対話集会で市民の皆さまの声を伺い、
公約をつくりました。8つの主要公約をお伝えします。

1 学校給食費を 無償にします。

既存事業の見直し、国の交付金等で財源をつくり(2億5000万円～3億円)、まず学校給食費を無償に、さらには教育費全体を無償化します。

2 親子が集い、楽しめる 「子どもの森」をつくります。

親子、若者、高齢者など多世代が集える多目的施設「子どもの森」をまちの中心部につくります。ここを核とした魅力的な都市型エリアを創出します。

3 市立病院と扇田病院の 2体制を堅持します。

令和9年度以降も大館市立総合病院と扇田病院の2病院体制を堅持します。医療と福祉を連携させて、高齢化率4割の市民の命と健康を守ります。

4 女性の地位向上のために 新しい部署をつくります。

女性差別をなくし、女性の地位向上のため、市民の相談窓口となる女性だけの部署を新設します。まず市役所から、女性管理職の登用を進めます。

5 市民バス「ふれあい号」を 復活させます。

町内会のバス旅行や親子遠足など広く使用されていた市のバス「ふれあい号」がなくなり、困っている市民が多数。市民バス「ふれあい号」を復活させます。

6 市役所改革プロジェクトを 発足させます。

パワハラを許さず、働きがいのある職場に改革します。ハラスメント事案(市長・副市長含む)は、内部通報者を守り、独立した調査機関を設け、徹底的に究明し、再発を防ぎます。

7 議員定数検討委員会を 設置します。

人口約6万6000人の大館市の現在の議員定数は26。一方、約16万人の弘前市の議員定数は28です。適正な議員定数を検討する会議体をつくります。

8 五色湖エリア 再整備事業は中止します。

約9億5000万円と予算が膨らむ五色湖エリア再整備事業は中止します。一泊数万円の富裕層向けの豪華なキャンプ場を、市民は望んでいません。



ふもと幸子の基本姿勢

政党や企業のしがらみのないふもとだからできます。
育児や介護をしてきたふもとだからわかります。
ローカルとグローバル、両方の視点でふもとは実行します。

- ① 市民の目線で、市の予算を徹底して抜本的に見直します。
- ② 市民との直接対話を重視、市民の声が届く市政にします。
- ③ 市民の財産・生命・暮らし・生業を守ります。

集会でふもとと直接お話ししませんか？/
皆様の声に耳を傾けます!!

お誘いあわせの上ご参加ください!
赤ちゃん・お子様連れ大歓迎!

開催日	曜日	会場	時間	開催日	曜日	会場	時間
8月9日	金	比内公民館大葛分館	18時～19時	8月17日	土	十二所公民館	10時～11時
8月14日	水	中央公民館(女性のみ)	10時～11時			下川沿公民館	15時～16時
8月15日	木	田代公民館山田分館	10時～11時	8月18日	日	上川沿公民館	18時～19時
		根下戸町内会館	18時～19時			中央公民館	10時～11時
8月16日	金	長木公民館雪沢分館	10時～11時	8月21日	水	釈迦内公民館	15時～16時
		北地区コミセン(女性のみ)	14時～15時			北地区コミセン	18時～19時
		田代公民館	18時～19時	決起大会	18時～19時		
						ほくしか鹿鳴ホール	

※予約申し込み不要・無料。予定は変更される場合があります。

ふもと幸子後援会にご入会ください!

ご入会ご希望の方は、下記へご連絡ください。WEBサイトからもご入会手続きが可能です。

ふもと幸子と秋田おばこの会(後援会)

〒017-0828 秋田県大館市向町27(旧阿部写真館)

TEL 0186-59-9465 FAX 0186-59-9475 携帯 090-1373-0460(事務局)

メール fumosachi@gmail.com WEBサイト fumotosachiko.com



Webサイト



メール



Facebook



YouTube



ふもと幸子の
WEB情報

ふもと幸子 プロフィール

1962年大館市生まれ。誕生当時、祖父・勇吉は初代比内町町長を務めており、父・淳二は火薬販売業とりんご農家を営む。1968年大館市立扇田小学校入学。当時の愛称は「フモヨン」。1974年大館市立比内中学校に入学。陸上部に所属。1977年秋田県立大館鳳鳴高校に入学。新聞部に所属。1980年筑波大学入学。フランス哲学専攻。1984年日経BP社入社。日経ウーマン創刊メンバーとなる。2006年日経ウーマン編集長に就任。2014年法政大学大学院経営学研究科修了。文部科学省、内閣府、林野庁などの有識者委員を歴任。2016年日経BP社執行役員。2019年故郷に貢献したいという思いで帰郷を決意。共生社会づくりの拠点として比内ヒルズ(扇田・長岡城跡)での活動スタート。高齢者や障がい者支援事業、6次化事業などに参画する。この5月まで大館商工会議所女性会副会長を務めた。『地方を変える女性たち』『イマドキ女性管理職の働き方』など著書多数。家族は夫、母、独立した子ども2人。孫3人。

現在の主な肩書

- 社会福祉士
- 作家・ジャーナリスト
- 大館市障害者施策推進審議会委員
- 大館市立扇田小学校同窓会会長
- 比内町芸術文化協会副会長
- 秋田県手をつなぐ育成会副会長